

月山山スキー報告 2019 年

【山城】 出羽三山・月山

【日程】 2019 年 4 月 13 日（土）～4 月 14 日

【メンバー】 CL 菊池・SL 石橋・鶴田・田形・志水・瀧瀬・加藤・井上（里）・広木（愛）・
会員外 2 名

【行程と天気】

13 日：晴れ、上部はガスで視界不良（ホワイトアウト）

千葉一月山スキー場・姥沢駐車場―リフト―山頂に向けシール登行―月山山頂―往路
に沿って滑走―西谷川右岸登山道ルート滑走―リフト乗り場―駐車場―志津（宿）

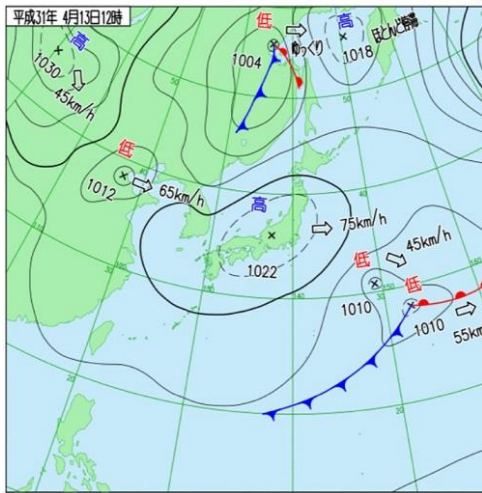
14 日：晴れ

志津（宿）―姥沢駐車場―リフト―姥ヶ岳山頂―北西斜面滑走―湯殿山とのコル（装束
場）―石跳沢ルート滑走―ネイチャーセンター―車回収―帰葉



・チームちば山の会の月山山スキー総勢 11 名（60 歳未満 5 名、最年少 46 才、60 歳以上 6 名、最年長 80 才）、1 日目の 13 日は天気図では好天が約束されたと判断し山頂に向かうこととした。雪壁（高いところで 7～8m はあろうか）の回廊道路を通過し駐車場に到着。3 月～4 月の降雪が多く、うず高い雪壁の要塞に囲まれた駐車場には

続々と車が入っており、既に満車に近い状態でした。そそくさと支度をしてリフト乗り場に向かう。10日にオープンして4日目、この景色が飛び込んでくると、否が応でもテン



ションはUPです。

リフト運転開始にどれだけの苦労があったか、雪堀り・除雪跡のこの状況で納得できました。記念撮影後、リフトトップからシール登行開始、(10:32)天気図では高気圧が本州の上にドンとあるが、気温が低く雪面がやや硬く降雪後のためモナカ形成されているエリアの多い。

トラバース気味に向かうが風の流が速い。斜度が増し、下地が固くなってきたためクート装着し稜線からのルートと合流する平坦地で休憩をとった。風が強く、雲が多くなっている。体力的にも大変な高齢者は、ここからエントリーすることとし7名で山頂アタックを試みることにした。





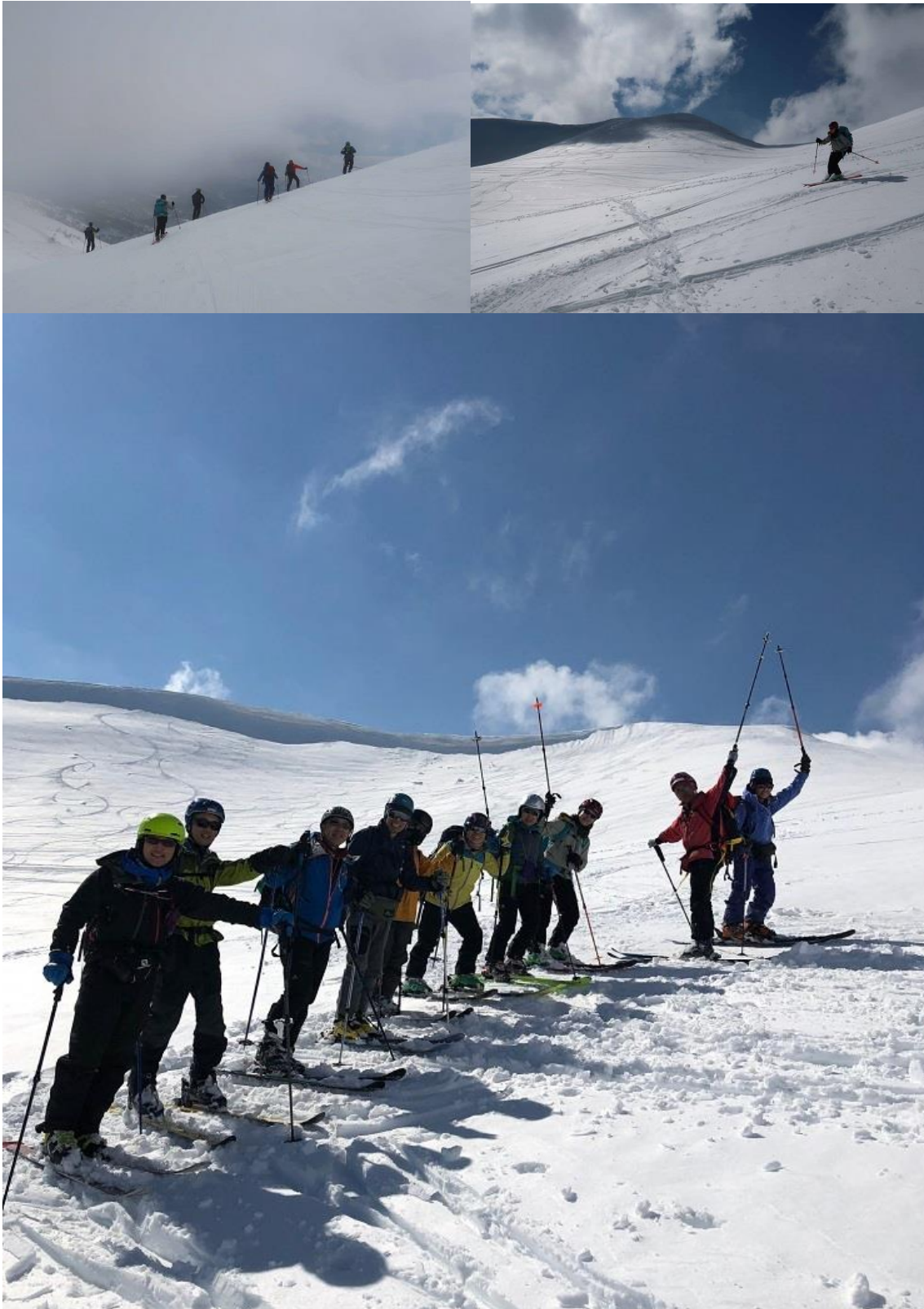
山頂に近づいてくるとシュカブラとガリが多く苦勞するため女性 2 名はスキーをデポ、小生はここで留守番とした。女性はアイゼンで、若い男性 4 名はそのままクローシール登高を続けた。間もなくガスが立ち込め、あっという間にホワイトアウトです。山頂に向かった 6 人が心配でした。山頂に到着したメンバーの記念撮影です。4 名はこの百名山の初登頂でした。おめでとう！！



多くの方々が登頂しており、苦勞しながら下山してきます。わがチームのメンバーもようやく滑走組とツボ足組とも私の待つデポ地(1840m)に合流しー安心、滑りにはならないためツボ足で高度を下げました。しばらく下るとやや視界が回復してきて滑走開始したもの、ターンを楽しむ余裕はありません。GPS で確かめながらゆっくり下りました。しばらくトラバー



ス気味に進むと前方はガスがかかっていません。間もなくホワイトアウト地帯を脱し、滑りやすい雪質地帯でもあり気持ちよく滑走でき、高齢者組と合流、一安心の記念撮影となった。



天気図ではまさかホワイトアウトで困ることは想像してなかった。山は怖いですね！！四ツ谷川を左下に登山道ルート of 斜面をトラバース気味に滑走した。ようやく滑り易い雪質となってきた雄叫びも飛び交った。この登山道ルートの斜面は広大な片斜面、先行シュプールは多数あり、メンバーの中で経験者は一人いたが、前方の地形が読めなく、雪底の下 of 急斜面をしばらくトラバースする。雪底崩落による雪崩跡を通過する緊張する時間であった。



ようやく姥沢小屋、リフト乗り場に到着宿は志津の「ゆきしろ」、山菜料理がおいしく、皆さん大満足でした。かなり疲れており、時間的にも厳しいため、清水コースの滑走は諦めた。



20190413 月山BCスキー

距離	8.8km
記録時間	05:19:26
最低高度	1,150m
最高高度	1,985m
累計高度(+)	656m
累計高度(-)	1,011m
平均速度	1.7km/h
最高速度	37km/h
消費カロリー	1648kcal
座標精度	★★★★★
接続率	0.2%

・2日目は午後下り坂に向かうが、気温が上がり前日より条件は良い。リフト下り場には大勢の人人人がスタート準備中であった。姥が岳山頂に向かってシール登高開始



姥が岳山頂は 360 度の大パノラマ、記念撮影をしてからいよいよ湯殿山とのコルに向かって北西斜面の滑走です。上部はシュカブラ、やや硬い下地、降雪後

の不整地などなどで要注意。滑りやすいポイントまで横滑りトラバースで移動。小生がまずエントリー、その後 SA さんが恰好良く続く。広大な滑りやすい大斜面に、思い思いのシュプールを刻みながらの大滑走です。このエリアは初体験、標高 1700m 以





下に広がる日本離れした豪快な景観、湯殿山の迫力が素晴らしいですね。姥が岳山頂（1670m）からコル（1330m まで）標高差 340m、下部に行くほど滑りやすい雪質となり SA さんも大満足の豪快なターンを決めていました。コル（装束場）まであとわずか、快適な滑走が続きます。コル付近、石跳沢源頭部で大休憩です。素晴らしい大滑走を体験し皆さん気分よさそうでした。石跳沢ルートにエントリー、ワックスを塗ってもザラメになりきっておらず湿雪で板が走りません。



湯殿山東面の急斜面の下です。ここの滑走は今後若手に任せましょう。沢が深くなる手前で左岸に移動します。



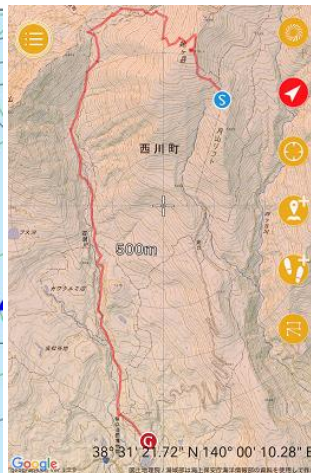
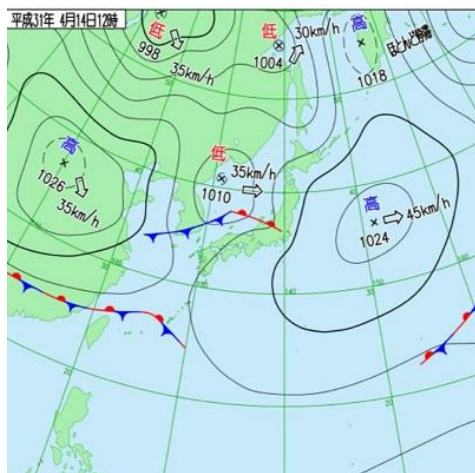
フィナーレ近くになるとブナ林が素晴らしく、重機で圧雪された滑りやすい登山道ルートを進むとフィナーレのネイチャーセンター（800m）です。

12 時の天気図を振り返ってみると低気圧が近づいていますが夕方まで持ちました。わが会若手のホープ健脚の US さ



ん、IKさんは同日、福島登高会のメンバーに同行し、月山山頂から肘折温泉までの超ロングルートを踏破しました。おめでとうございます。

素晴らしい2日間でした。月山バンザイです！！



20190414 月山BCスキー-2

距離	7.5km
記録時間	03:20:48
最低高度	791m
最高高度	1,674m
累計高度(+)	247m
累計高度(-)	961m
平均速度	2.3km/h
最高速度	31km/h
消費カロリー	963kcal
座標精度	★★★★★
接続率	0.4%